

明海大学浦安キャンパス不動産学部同窓会

# RYOKUFUKai

START

## 大学院不動産学研究科博士後期課程

不動産を経済、法律、工学といった様々な分野を横断しながら広く学び、研究を行うために不動産学研究科が誕生したのは、1998年の春のことでした。それから2年、ついに国内初の不動産学修士が誕生し、その修士課程で得られた知見をさらに高めるため、今春、明海大学大学院不動産学研究科内に博士課程が設置されました。これによりいよいよ、我々の母校は「学び舎」から一つの社会的に認められた研究機関への一歩を踏み出そうとしています。くわしくは、インターネットHP上で情報提供しておりますので、下記のアドレスまでアクセスして下さい。

## 不動産学研究科博士後期課程授業科目及び担当教員一覧

専門分野	授業科目	担当教員
情報・市場	環境・情報分析特講	教授:川口 有一郎
	空間情報分析特講	助教授:表 明 泰 夫
	意思決定分析特講	教授:林 垂 夫
	不動産鑑定理論特講	教授:武田 公 夫
	地域資源論特講	教授:森 康 夫
経営・管理	不動産投資理論特講	教授:前川 俊 一
	不動産金融論特講	教授:片岡 隆 降
	都市開発経営論特講	教授:小泉 允 園
	家族・相続法特講	教授:加藤 美穂子
	不動産管理論特講	教授:石塚 義 高
	不動産税制特講	教授:田中 一 行
計画・政策	建築計画論特講	教授:井上 裕 裕
	都市計画論特講	教授:阪本 一 郎
	住宅政策論特講	教授:松本 光 平
	土地政策論特講	教授:長谷川 徳之輔
	開発行政論特講	教授:三本木 健 治
	環境法政策論特講	教授:柳 憲一 郎
演習	特別研究Ⅰ	各特別研究担当者
	特別研究Ⅱ	各特別研究担当者
	特別研究Ⅲ	各特別研究担当者

## (参考) 2000年度入試要項

募集人員	出願期間	試験日	試験科目	総合得点	試験時間・配点
3名	2月28日(月) 3月3日(金)	3月14日(土)	外国語 面接	8.30	10:00~11:00 総 100 11:10~ 面接

## 不動産学研究科博士後期課程の設置にあたって

本学に、わが国初の不動産学部が誕生して早くも8年が経過いたしました。その後、1998年4月に大学院不動産学研究科修士課程(博士前期課程)が創設され、この3月にわが国初の修士(不動産学)の学位を取得した者10名を世に送り出す事が出来ました。また、4月にはこれまたわが国初の大学院博士後期課程も設立され、2名の院生を迎えることになり、後進者育成も含めた本格的な大学としての体制が整ったわけです。その意味で、ようやく「不動産学」が社会的に認知されてきたような気がいたします。しかし、まだ学問領域の一つとして「不動産学」が確立しているとは中せない状況が現実で、現在の「不動産学」は、不動産を対象とした既存学問領域(法学、経済学、工学など)における個々の研究の総体を言うにすぎず、それら個々の研究が有機的に結びついているとは言い難い面が少なくありません。こうした状況下で、本学不動産学部や大学院不動産学研究科は、微力ながらも「不動産学」の確立に向けて努力しているところですが、本学部を卒業された緑風会会員の方々の中で、現実の社会において不動産に対する様々な問題意識を抱えながら、改めて勉強し直してみたいと考えておられる方も少なくないと思われまふ。博士後期課程設置を契機に、多くの卒業生が「不動産学」の確立に向け、また、不動産に関する専門的職業人としてのキャリアアップを目指して、本大学院研究科への進学を積極的に考えてみてはいかがでしょうか。



副学長兼不動産学部長・不動産学研究科長  
小泉 允園

## 履 修

### (1) 修業年限

修業年限は、3年です。ただし、事情によっては6年まで在学できます。職業を有する学生の場合は、3年を超えて履修する場合もあります。この場合、最初の1年間は職場を離れて学業に専念して修了に必要な講義の大部分の単位を取得し、翌年から夜間又は土曜日等の時間帯に主として指導教授の論文指導を受け、博士論文の作成を行うことも可能です。

### (2) 授業の実施方法

授業は昼夜間講制で、原則として次の時間帯に実施されます。

授業時間	月	火	水	木	金	土
13:00~14:30						
14:40~16:10						
16:20~17:50						
18:00~19:30						

特別研究1~3までについては、担当教員と学生の話し合いで指導時間を決めます。

(資料請求先)

明海大学 インフォメーションセンター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-38-2

TEL.03-3375-9583(代) FAX.03-5351-7661

## おめでとうございます 本学3教授叙勲される

### 高山 隆三 教授

99年3月16日にドイツ功労者勲章功勞十字小勲章の伝達式がドイツ連邦共和国大使館で挙行了。経済学部高山隆三教授と夫婦同時の勲章の伝達はドイツ大使館でも史上初。教授は早くからドイツ農村・環境問題を研究し、日本に紹介。ドイツの「我が村は美しくコンクール」を日本で実現させた。「自然と人間の調和」という考え方が普及していなかった当時の日本に、大気・水・土壌という自然的公共財産を安全に維持しながら美しい村をつくることの重要性を認識させてきた。



馬場教授に  
岩切事務長による  
記念品を贈呈

#### 感 謝

受章の際、よく「國らずも」といわれますが、私の場合も全く思いもつかなかったことで同じ心持ちです。しかし、「わが村は美しく」というドイツの村づくり運動を、日本の市町村でも定着させようと努力したことが認められ、ドイツ大統領よりの今回の受章となったことを有難く思っています。この運動は、自然と調和した町村、定住の場を住民の力で作り上げていくもので、自然破壊・環境汚染が進行している現在、何よりも必要です。二十世紀を担う卒業生の皆様も、自然と調和した定住の場の形成に活躍されることを期待します。

### 馬場 孝一 教授

4月29日付けで発令された「春の叙勲」で勲三等瑞宝章の叙勲を受けられた。教授は総理府・経済企画庁に20年以上勤め、国連本部で都市・地域開発に関する研修を受けた。その後、経済開発アドバイザーとしてインドネシアやタイなどの開発途上国に駐在。都市・地域開発計画の推進に尽力した。

#### 感 謝

平成十一年春、國らずも勲三等瑞宝章を拝受しました。これは、国家公務員として公務に勤しんだことと、本学の校是とも一致する仕事すなわち国際社会で働いたことも認めていただいた結果と存じ、感激しております。



(左から) 伊豆教授・小泉学部長・高山教授

### 伊豆 宏 教授

11月3日付けで発令された「秋の叙勲」で勲四等瑞宝章の叙勲を受けられた。教授は55年に建設省に入省され、94年から本学不動産学部教授とられた。専門は住宅・土地経済論。日本不動産学会委員・経済企画庁総合計画局「2010年地域居住研究会」委員・座長代理。

#### 感 謝

1999年11月3日の秋の叙勲で勲四等瑞宝章の榮に欲し、これも皆様の励ましとご芳情の賜物と深く感謝しております。建設省に1955年入省以来、住宅、土地、地域問題に約45年間携わり、学び、教えてきましたが、これを契機になお未解決の諸問題の解明に力を注ぎ続けたいと思います。

## 住所の変更はご連絡を

ご結婚・移転等で住所が変わられましたら、是非ご一報下さいませようお願い致します。また、次の住所不明者の方でご存じのお友達がいらっしゃいましたら住所をお知らせ下さい。総会の出欠席用として同封する返信ハガキは、随時受け付けておりますので、ご利用ください。

### 99・11現在住所不明者

51920017	池田 智晃	51930029	岩崎 青	61920044	吉岡 永史
35	満田 武馬	151	張 真美	108	日永田 慎
80	菅 泰治	155	辻 良子	116	藤嶋 仲良
144	高橋 善樹	158	寺嶋 真紀		
150	田口 雅嗣	178	中山 智仁	61930015	伊佐 伸彦
156	千葉 秀作	199	丸屋 和幸	43	長田 和子
244	吉田 史郎	216	松本 壮史	63	小林 栄司
255	清井久美子	249	佐藤孝幸	72	佐藤 誠晃
				135	三森 潤
				151	吉本 泰充
				61940024	及川 幹
				31	大塚 将希
				50	清田 敬彦

## Introduction

## 役員(候補予定者)紹介

2000年3月で今年度役員  
の任期が満了となるため次  
の役員案が2月19日(土)の  
理事会において承認された。

6月10日(土)に行なわれ  
る総会において正式に決定  
する。

## 役員

代表/佐藤 仁思  
副代表/本間 勝  
事務担当/岩切 秀仁  
会計担当/種村 由起子  
監査担当/丸島 浩二  
顧問/伊藤 憲

## 理事

越川 安奈  
渡辺 孝幸  
谷口 竜介  
吉池 豪  
砂川 大輔  
西田 忍  
日野 仁彦

## 2000年度評議員

川島 弘充  
山陰(望月)慶子  
山崎 信幸  
小野 文章  
神原 尚彦  
田村 真澄  
中川 卓  
大森 いずみ  
田村 康史  
藤美 俊太郎  
久保ノ谷 淳  
江重 洋  
高橋 秀輔  
武藤 由美子

## 代表(候補予定者)挨拶



佐藤 仁思

緑風会も設立5年を迎えました。緑風会設立より代表を務めてこられた伊藤氏に代わり本年度より代表を務めることとなりました第1回卒業の佐藤でございます。本会の設立以来、講演会の実施、定例総会・懇親会の開催、会報の発刊等々、この重要な創生期にご尽力されました伊藤氏にこの場をお借りして御礼申し上げますとともに、5年目という節目の年に代表をさせて頂くにあたり一言ご挨拶を申し上げます。私自身不動産業に従事しており、不動産業界からの視点となるのですが、同窓会の役割については会員間、先生方との「親睦」を図ることだけではなく、「情報交換」がとても重要だと考えております。「情報」と一言で申し上げても多岐に及びますが、本会を媒体とした「情報」は、同窓生という信頼の絆に基づいた「情報」であり、この情報交換こそ大きな利点であり役割であると思います。会員の皆様には本会をもっともっと利用して頂いて全ての人間関係の軸として仕事を始め様々な分野に活かして頂きたいと思っております。最後になりましたが、微力ながら緑風会を益々盛り立てていきたいと思っておりますので今後ともご協力、ご支援下さいますようお願い申し上げます。

## 役員(候補予定者)より

- 代表の佐藤君を補佐するため一生懸命役目を果たしたいと思  
います。今年度は5周年にあたりますので皆様のご協力をお願  
い致します。  
(副代表/本間)
- 皆様のお役に立てる事を大変光栄に思います。  
(事務担当/岩切)

- 緑風会の予算をよりよく活用できるよう皆様も意見・要望を  
どんどん私達役員までお寄せください。(会計担当/種村)
- 益々の会の繁栄のため、微力ながら力になりたいと思  
います。  
(監査担当/丸島)

## Official

## 1999年度事業報告

- ①第6回理事会の開催 5月26日(水)明海大学内オープンカレッジカルチャールーム
- ②第4回評議員会の開催
- ③第3回総会の開催 5月26日(水)明海大学内ニューマリーンズ
- ④第3回懇親会の開催
- ⑤ホームページの開設
- ⑥会報の発行(1999年4月1日付け 第3号)
- ⑦会員名簿の管理(データ整理・就職先調査)…10月下旬会員へ照会
- ⑧第7回臨時理事会…2月19日(土)明海大学内オープンカレッジカルチャールーム
- ⑨特別会員の叙勲表彰…3月23日(木)

## 2000年度事業計画(案)

- ①第8回理事会の開催 日時…6月10日(土)
- ②第5回評議員会の開催 会場…新浦安オリエンタルホテル
- ③第4回総会の開催 会費…2,000円(新会員は無料)
- ④第4回懇親会の開催(5周年記念パーティー)
- ⑤会報発行(2000年5月1日付け 第4号)
- ⑥会員名簿の管理(データ整理・就職先調査)
- ⑦ホームページの開設準備
- ⑧緑風会5周年記念事業
- ⑨緑風会紹介パンフレット作成
- ⑩その他

自2000.4.1～至2001.3.31単位(円)

### 2000年度緑風会 収支予算(案)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差 額	摘 要
会報発行費	400,000	300,000	100,000	印刷費・編集費
事務整備費	200,000	200,000	0	インターネット維持費など
通信費	350,000	300,000	50,000	封筒代・切手代・業書代
総会・理事会経費	500,000	600,000	△100,000	総会経費等
事務管理費	200,000	200,000	0	コピー用紙・事務消耗品
慶弔費	100,000	100,000	0	慶弔費
交通費	350,000	500,000	△150,000	理事会出席の為の交通費・宿泊費
業務委託費	400,000	400,000	0	事務業務、情報処理業務
5周年記念事業費	200,000	0	200,000	緑風会設立5周年記念講演会等
合 計	2,700,000	2,600,000	100,000	

## 「ケンブリッジからの便り」

不動産学部 講師 小川 清一郎

ケンブリッジでは長い冬が終わり、カレッジの緑の芝生の上には黄水仙が咲きほころび、大変美しい季節が到来しています。大学の授業は10月から12月までのミカエル・ターム、1月から3月までのレント・ターム、4月から6月までのイースター・タームの3学期制で、それぞれ2ヶ月8週、授業は1コマ1時間で、同じ科目が週2回から3回集中的に講義が行われます。講師の先生も複数で担当することが多く、それぞれの得意分野を担当するようです。9時から18時までカリキュラムが組まれており、面白いのは休憩時間や昼休みがないことです。例えば、9時から10時まである科目の講義があり、10時から11時は別の科目の講義ということになります。教室が同じ場合は入れ替わりが大変で5分から10分のロスはどうしても生じてしまいます。昼食は自分の空いた時間帯にとることになります。1週間の中、水曜日とか木曜日などにランチタイム、セミナーと呼ばれる研究会が開催されます。文字通り、ランチを食べながら、あるいはその時間帯を利用して行うものです。私はこうした講義やセミナーに出席しています。聞き取りは大変ですが、レジュメが事前に配れるのと、黒板にパソコンを使って要点が映写されるので聴講の一助となります。講義の他に学生はスーパービジョンと呼ばれる個人指導を受けますので大変勉強させられることとなります。

課外活動も盛んです。3月上旬、ケム川で開催されたカレッジ対抗のボートレースを見てきました。ケム川は狭いので一定の間隔を空けてスタートし、前のボートに後ろのボートがぶつくと後ろのボートが勝ちとなります。前のボートにぶつかる場所からこのボートレースを通常「Bumps」(ぶつかるという意味)と呼んでいます。30余あるカレッジが1週間かけて競争するのです。

ケンブリッジの郊外はフェンという平原が広がり、賑やかな田園風



左側 小川先生(ケンブリッジにて)

景が展開しています。カントリーハウスも幾つかあり、そこを訪ねるとその広大な土地と立派な屋敷には驚かされます。大土地所有の名残りでしょうが、こうした広大な敷地に暮らした人々を思い起こす緑を提供してくれます。その一つ、アングルシー・アベイでは2月上旬スノードロップという白い鈴蘭に似た花が咲きそろう綺麗でした。日本で言えば梅見の感覚で広大な庭園を人々が散策しています。こちらの人はカントリーハウス巡りがとても好きで、車に長靴を積んでおり、それに履き替え、散歩を楽しんでいます。

パブはイギリスの名物ですが、ここケンブリッジにも多くのパブがあります。昼食や夕食をとることもできます。その一つに「イーグル」という有名なパブがあります。ラビリンスのように入り組んでいますが、木造の古色蒼然とした佇まいにはほっとした温もりを感じます。古い時代からあるようでオリバー・クロムウェルやミルトンの肖像も見られます。DNAの二重螺旋の構造を解明してノーベル賞を受賞したクリック、ワトソンはこの酒場でその着想を得たと聞きました。ここかしこに歴史上の人物の面影があるのは歴史の一筋に在ることを実感させます。これから益々日が長くなり、春本番を迎え、観光客が増えると思います。それではこの辺で失礼します。

## 第4回緑風会總會のご案内

第4回總會を下記の通り開催致します。

今回は、緑風会設立5周年を迎え新浦安駅前にある新浦安オリエンタルホテル内で行います。先生方も多数御参加される予定ですので、是非お誘い合わせの上、ご出席下さいますようご案内申し上げます。

日時:6月10日(土)18時00分～(17時30分受付開始)

会場:新浦安オリエンタルホテル内HUB(B1F)

会費:2,000円(1999年度卒業生は無料)

※同封の葉書で出欠席を5月23日(火)までに必ずご返送ください。

連絡・お問い合わせ先

緑風会事務局:電話 047-355-5112 FAX 047-355-5117 (深谷・西田)

## 会員近況報告

- 友人が三人も続けて結婚してしまった。  
とってもうらやましいぞ～。 (第1期 梅沢 謙一)
- 今年の五月に長男が生まれました。 (第1期 金坂 好則)
- 別サラして早一年になろうとしています。あっという間の  
一年間でしたが、頑張ります。 (第1期 兼賀 寛之)
- 最近マンション開発やっています。 (第1期 渡辺 孝之)
- 今年の3月で退社しました。  
ワーキングホリデーを利用中です。 (第1期 大坪 信英)
- マンションの管理を行なっています。  
一言に管理と言っても販売前のプランニングから  
日常の管理組合の運営、修繕や建て替えまで一つの  
不動産と一番長くお付き合いする業務です。  
入社して4年、マンネリのないとても  
面白い仕事に毎日頑張っています。 (第1期 井上 大輔)
- 貧乏難なし?! あいかわらずバタバタ忙しく  
元気にしております。 (第1期 佐藤 仁忠)
- とりえず作家と路上関係の  
インストラクターを目指しています。 (第2期 田村 綾子)
- 不動産とは関係ない服飾販売業に就職して早3年目。  
1時間半の通勤時間にもめげず  
頑張って笑顔をふりまいています。 (第2期 高橋 ひろ子)
- 芝居をやっているので定職には…。 (第2期 青木 知)
- 先月結婚して(ちなみに妻は、他大学卒です)  
11月下旬より住所が変わります。 (第3期 桜沢 博)
- 不動産業とは縁のないDJをやっております。 (第3期 小谷 研寛)
- 浦安は大変良い場所です卒業後もお世話になっています。  
元気に仕事しています。 (第3期 佐藤 精一)
- 暫定滑走路建設に向け成田空港が新たな動きに向かっていきます。  
毎日充実した日々を送っています。 (第4期 河合 徹)
- 2つ学年上級の加藤さんが当社で成績をあげてる。  
当社の有名人だ。 (第4期 高橋 基)
- 不動産業に就職しましたが、早くも辞めました。  
毎日があまりにもつまらなかったあの頃がうそのように今は  
充実しています。辞めてよかったです。(第4期 福井 佳奈子)

## 先生の近況報告

林 亜夫 教授

卒業生へのメッセージ

ご卒業おめでとう！といってもこれから世間の荒波に船出する諸君にとって、それほどめでたいことではないかもしれない。一生懸命勉強し、資格も取得し、希望に燃え張っている諸君だけでなく、なんとなく入学し、なんとなく学生生活を過ごし、なんとなく卒業していく諸君も多いに違いない。どのような諸君であってもこれからの大変さは同じかもしれない。なんとなくやってきた諸君はなんとなく行かなくなり、知識や資格をもっといても直ぐ古くなって使い物にならないかもしれない。

しかしそんなことを恐れる必要はない。そもそも社会が大きく変わり始めているのだから、諸君だけでなく我々全員が変化し、適応していかなければならないのである。ただし変わらないことは、怠まない努力と誠実さの重要性ではないだろうか。長期的な人生目標や計画など立てられない世の中であろう。むしろ差し当たり(当面)の目標でいいからしっかりと据えてそれに向かって努力して行くことが肝要であろう。その結果が自信となり、その経験と自信を糧にしてより大きな目標に挑戦して行けることを願っています。

阪本 一郎 教授

「都市計画」ケーススタディ

卒業生の皆さんお元気ですか。このたび小規模な新築マンションに転居しました。前面道路幅員3.7m、隣地壁面後退0.5m、遊歩路危険というすさまじいものです。おまけに、床面積13%減、周囲環境悪化のおまけつきです。代わりに手にしたのは通勤時間40分短縮で、我々夫婦の時間価値：??円×160分(1日あたり)の機会費用節約が諸条件悪化に見合うものであるよう、日々の生活を価値あるものにしなければならなくなりました。都市計画を教える者が、このような好ましくない不動産を市場で支持したことになるため、授業の説得力が減るのではないかと少々気にしています。ただしコンパクトな都市の実現にはちょっぴり貢献したはずです。課題：この転居を社会的視点から評価せよ。提出期限：なし。

齊藤 広子 助教授

明海大学不動産学部卒業生の皆さん、お元気でしょうか？社会に出られて何年経ちましたか？日々仕事や生活のなかで、不動産を取り巻く環境の変化を肌で感じられていることと思います。その変化についていくだけでなく、その変化を創り上げるのが皆さんの役割であり、責任です。皆さんの手で不動産の新しい価値やシステムが創り上げられることを期待しています。

## 事務局より

緑があざやかな季節がまたやってきました。我が明海大学にも新入生という若葉連が入り、活気が出てきました。大学のキャンパス内は21世紀に向けた新しい学校へ変化するために拡張工事が進められています。皆さんはいかがですか？変化のない日常に流されて疲れていませんか？最近「癒し系」といった物が流行っているようですが一般的には「癒し」の色は「緑」と言われています。我が緑風会もそういった「癒し」の会になれば、と私は思います。日々の生活の疲れを癒しに若葉生い茂る母校へ足を向けてはいかがでしょう？ (事務局担当:岩切)

緑風会会報 第4号

編集・発行/明海大学浦安キャンパス 同窓会緑風会

発行責任者/岩切 秀仁

印刷/(株)弘文社

平成22年5月1日